

# 母体搬送受け入れ症例数

## 概要

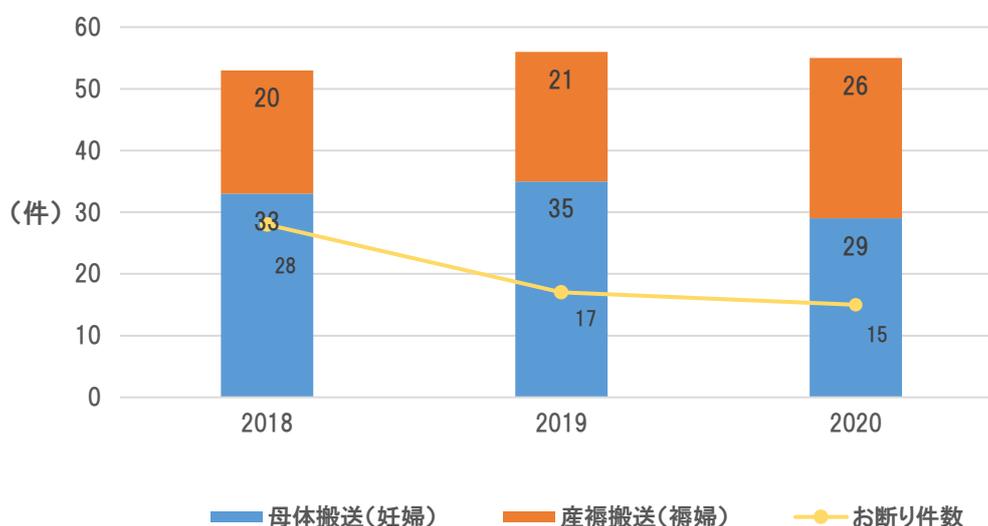
母体搬送とは、一般的に、妊産婦や胎児の状態が悪化したり、または、状態が悪化することが予想されるような場合に、母体および胎児の安全を図るために、母体をより高度な設備のある医療機関へ救急搬送することを言います。これには、妊娠中のみならず、分娩後の状態悪化のために搬送される場合も含まれることがあり、これをとくに産褥搬送と言います。

ここでは、過去3年間の、妊婦の母体搬送(妊娠中)と産褥搬送数、及びそれらを受け入れられなかった件数を調べています。

群馬県における周産母子センターとして、一定数の重症妊産婦を受け入れる社会的な重要性を担っています。

## 実績

### 母体搬送数



## 共有/フィードバック方法

分娩に関する統計は、毎年、群馬県周産期医療体制協議会で各周産期医療施設および行政と共有しています。

## 解説

・産後の搬送は増加傾向にあります。分娩後大量出血などの産後の異常は重症化すると小規模施設では対応が難しいため、軽症のうちからの早期の搬送が勧められます。

・産科や小児科の病床が満床などの理由で母体搬送をお受けできないこともありますが、その数は減少傾向です。これは、全体としての分娩数が減少していることも一因と考えられます。

◆ 担当部署 : 周産母子センター